



人と地域を育む郷育ファーム

～地域で実践する「食」を通じた環境にやさしい人づくり～

グループ名：環境教育
 メンバー：西岡英二、大和直明、河村直幸
 チューター：大川秀樹、窪田光宏、岡本肇

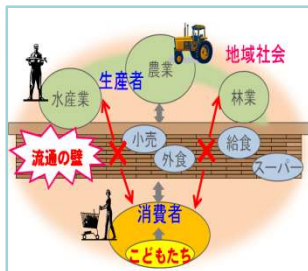
現状の把握

■「食」の持続性に関するリスク

- ・世界の人口増加と食糧需要拡大
- ・気候変動(生産地、生態系)
- ・フードマイレージ、バーチャルウォーター

■改善されない「食」への消費者意識

- ・生産者と消費者の距離 = 「流通の壁」
- ・埋まらない環境意識と行動ギャップ
- ・食品廃棄物



2030年に向けての提言の概要

人と地域を育む「郷育ファーム」

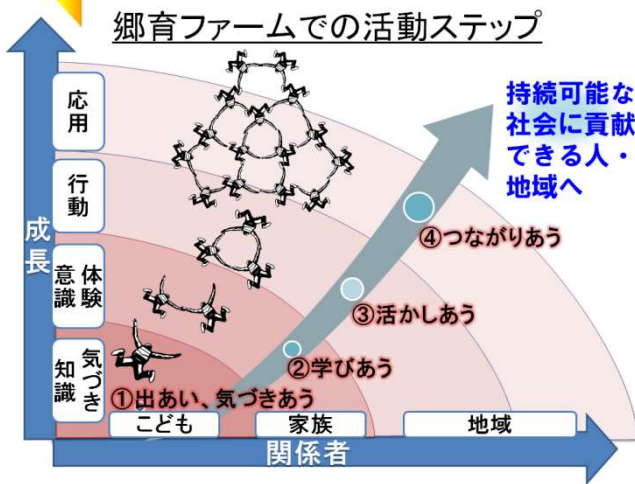


我々の生存に欠かせない「食」について、子供(=将来の主要消費者)が正しく理解・行動する事が必要

地域の宝である子供を中心に、持続可能な社会に貢献できる人と地域を育む「郷育ファーム」の構築

提案の内容

郷育ファームでの活動ステップ



持続可能な社会に貢献できる人・地域へ

提案実現のための具体的な取り組み (アクションプラン) と実現可能性

| ステップ | 狙い | 郷育ファーム | 内容 |
|------------|--------------------------------|--------------------------------|---|
| ①出あい、気づきあう | ・自然と触れあう・食と自分を意識 | ・水田、畑 ・食品加工工場 ・クリーンセンター | ・食は自然の恵み ・食品廃棄物の現状や処理 |
| ②学びあう | ・学び場の拡大 ・地域を巻き込む | ・学校農園 ・地域農園 | ・生態系、気候 ・環境テーマの調べ学習 ・生産者と消費者の関係 |
| ③活かしあう | ・得意分野で貢献 ・教え合う持続性 | ・地域農園 ・調理室、加工所 ・直売所、スーパー | ・人と人のつながり ・知識を行動に ・調理実習 ・販売体験、地産地消 |
| ④つながりあう | ・子どもを中心に ・地域全体へ ・地域間つながり | ・小・中学校区 ・近隣地域 ・流域圏 | ・知識・経験の普及拡大 ・意識と行動の一致 ・環境配慮の消費行動 ・お互いの顔を知る関係 |

学校・行政・NGO等が独自展開していた環境教育を「食」で横串を刺し、成長に応じた「食」を軸とする各種プログラムを提供できる「郷育ファーム」を実現

波及効果

サステナブル愛知
を実現

地域活性化、地域の持続可能性の実現

高齢者の活躍の場、生きがいの創出

農業の魅力アップ、畜・水産業などへの波及